

平成30年度防災教育モデル実践事業報告書

学校名 佐伯市立本匠小学校・佐伯市立本匠中学校

I 学校の情報

1 学校規模

本匠小学校：学級数6 児童数46人 職員数12人
本匠中学校：学級数4 生徒数27人 職員数12人

2 分掌の位置づけ

防災教育モデル実践委員 25人
防災教育コーディネーター 本匠小学校：谷口裕子 本匠中学校：神田邦宏

3 地域環境

本匠小学校・本匠中学校がある本匠地区は、佐伯市の中でも山間部に位置し、その中央部を流れる「番匠川」の上～中流域にあたる。平成29年9月県南部に被害をもたらした台風18号では、番匠川の増水に伴い大水車破損の被害を受けるとともに、支流宇津々川の氾濫により学校近隣地区も浸水害を受け、児童生徒の自宅も数件が床上・床下の浸水被害にあっている。また、本匠の地質特性からも土砂災害が発生する危険性の高い地域である。

II 本事業の研究テーマ

ふるさと本匠を愛し、貢献する児童生徒の育成
～思考力・判断力・表現力の育成をめざして～

III 本事業の取組のポイント

- 小中9年間を見通し、それぞれの発達段階に求められる「主体的に行動する態度」を家庭や地域との連携を通して育成する。
- 災害時、児童生徒が主体的な避難行動をとり、地域を支える支援者となるような意識を高める。
 - 【1】「主体的に行動する態度」の育成に向けて、児童生徒の発達段階に応じた態度を明確にし、9年間を見通した防災学習について系統的・計画的な教育課程の編成を見直す。
 - 【2】小中防災教育コーディネーターを中心に先進的実践校の視察から取組の検討・改善を図り、教職員研修を通して防災教育や学校安全に関する知識・技能を習得するとともに、防災意識を持った実践を重ねる。
 - 【3】これまでの避難訓練を見直し、学校防災と地域防災を関連づけ、災害時の主体的な避難行動の在り方を考え日常・家庭での活動に繋ぐ。
 - 【4】被災地訪問での見聞した内容から、自ら率先して避難する力や災害時に支援者として活動しようとする意識・態度を育てる。

IV 本事業の経過と具体的な取組

実施時期	取組	内容	対象
5月	小中合同研修	モデル事業の内容概略説明	全職員
6月	モデル事業実践委員会準備会	事業内容と推進校の役割説明	地域
7月	P T A防災講演会	自然災害（主に浸水害）	児・生・P・職
7月	防災学習講演会（県砂防課）	浸水害・土砂災害	児童生徒・職
7月	小中合同研修	今後の研修計画	全職員

7月	防災キャンプ（中学校）	本匠森林公園キャンプ場	生徒・職員
7月	第1回実践委員会	これまでの取組、今後の予定	地域
7月	防災キャンプ（小学校）	本匠小学校	児童・職員
7月	防災研修 出前講座	基礎講座「気づき」から始める防災	全職員
8月	職員研修	先進地視察	職員
8月	防災研修 出前講座	避難所開設「児生職ができること」	全職員
8月	職員研修	各部内容検討	全職員
8月	小中合同研修	研究内容について	全職員
9月	被災地訪問	愛媛県西予市野村地区	児・生・職
9月	第2回実践委員会	これまでの取組、今後の予定	地域
10月	避難訓練広報活動①	チラシ回覧（市報回覧時）	地域
10月	第1回小中合同避難訓練	浸水害想定避難訓練	児・生・職
10月	防災研修水害講演会（中学校）	佐伯河川事務所	生徒・職員
10月	避難訓練広報活動②	チラシ回覧（市報回覧時）	地域
10月	防災研修水害講演会（小学校）	佐伯河川事務所	児童・職員
10月	第2回小中合同避難訓練	下校時地震津波想定避難訓練	児・生・職
11月	避難訓練広報活動③	チラシ回覧（市報回覧時）	地域
11月	防災発表（中間報告）	本匠文化芸術祭で地域に呼びかけ	地域
11月	小中合同研修	今後の研修について	職員
11月	第3回小中合同避難訓練	市一斉避難訓練同時開催地域訓練	地域
11月	小中合同研修	公開研究発表会に向けて	職員
11月	第3回実践委員会	公開研究発表会に向けて	地域
12月	公開研究発表会	参加者103名	地域
1月	第4回実践委員会	研究成果、今後の予定	地域
2月	学習成果提言	ミニ議会	児・生・職
2月	研究紀要作成	防災研修のまとめ	職員

①防災教育全体計画・各学年年間指導計画、「総合的な学習の時間」における活動の見直し

○危機管理マニュアルの見直しや内容の周知を通して、職員の役割を明確化するとともに日頃の安全教育・危機発生時における対応等を小中全職員で共通理解した。また、小中一貫校としての生活科及び総合的な学習の時間における9年間を見通した系統的な指導が実践できるように、「地域」・「伝統」・「防災」から年間指導計画を作成した。

②職員研修

○外部講師を活用し、職員の防災意識ならびに防災教育への実践意欲の高揚を図ることを目的とし、職員研修3回を実施した。

【第1回防災出前講座】7月23日（月） 小中合同研修 対象：職員

・大分県防災活動支援センター川村正人氏からの「気づきから始める防災」という基礎講座。地形や気象状況から発生する災害の基礎知識、ハザードマップの見方などを通して安全点検や防災訓練の在り方について学んだ。命を守るためには、気象状況のわずかな変化を知ることが大切であること、早期の情報収集の必要性を感じた。

平成30年度 学校防災 出前講座
佐伯市立本匠小学校、本匠中学校 様
7月23日（月）10:00～11:00




基礎講座
「気づき」から始める防災
風水害・土砂災害 編
(特) 大分県防災活動支援センター 川村正人

平成30年7月豪雨 人的・建物被害
2018年7月20日13時45分総務省消防庁集計

人的被害（人）	住宅被害（棟）	非住宅被害（棟）
死者 15府県 225	全壊 2,873	公共建物 6
行方不明者 13	半壊 588	その他 43
負傷者 58	一部損壊 984	
軽傷者 303	床上浸水 15,159	
程度不明者 3	床下浸水 19,463	
	31道府県3万9067棟	

いつ避難？ 避難行動時の危険回避？



気象情報 → 避難情報 → 避難行動

大雨注意報・洪水注意報
大雨洪水警報
土砂災害警戒情報
記録的短時間大雨情報
大雨特別警報

避難準備・高齢者等避難開始
避難勧告
避難指示（緊急）

対応の流れ
災害情報入手
避難判断
避難行動
行動時の安全確保！
避難の継続

時間の流れ
水害・土砂災害発生
避難所または退避

【第2回防災出前講座】8月8日(水) 小中合同研修 対象：職員

- ・第1回に引き続き川村氏から「避難所開設 児童生徒・教職員ができること」の講義を受けた。避難所はどんな場所かという基礎知識から具体的な解説の仕方について説明があった。

平成30年度 出前講座
「避難所」



避難所 児童生徒・教職員ができること

日時：8月8日(水) 10:00~11:30
場所：佐伯市立本匠小学校中学校

(特) 大分県防災活動センター 2018 Rev.11

1 どんな所？(基本方針)

1 避難者(住民)による自主的な開設・運営を目指します。

避難所を開設する場合は、運営責任者(=市町村職員)を配置します。災害発生直後は、運営責任者が応急的に避難所の運営を行います。避難が長期化すると見込まれる場合は、原則として避難者による自主的な運営に移行して取り組みます。行政は支援を行います。

2 要配慮者に優しく、男女共同参画の視点にも配慮した避難所づくりに取り組みます。

3 地域の支援拠点としての役割を担う場所となるよう、在宅避難者にも配慮した避難所づくりに取り組みます。

避難所は、情報収集や情報提供、食料・飲料水、物資等の提供に関する地域の支援拠点となります。避難所生活をしている人だけでなく、避難所外避難者、その地域で在宅避難や車中泊、テント泊をしている人も支援の対象とします。

出典：避難所運営マニュアル(平成29年6月版)

【先進地視察】8月3日(金) 対象：教頭、小中防災教育コーディネーター

- ・東京都台東区立金竜小学校における安全教育の取組について説明を受け、本匠地区での取組について思案材料を得ることができた。3.11東日本大震災から「東京防災」について東京都としての取組を軸に学校独自では校長の体育・健康・安全教育の充実の経営方針を受けた「安全教育」についての校内研究が推進されていた。学校備蓄や児童の個人備蓄の取組、インターナショナルセーフティスクールとして取組、毎月の避難訓練等参考となるべき点が多かった。



③防災教育授業実践

- 小学校高学年から中学生に向けて、外部講師を活用した講演会による基礎知識の獲得と全学年での授業実践を通して、各発達段階に応じて災害時における避難の仕方について考えることができた。

【防災教育講演会】7月5日(木) 小中合同研修 対象：児童生徒、保護者、職員

- ・1学期末PTAに合わせて、大分県防災アドバイザー花宮廣務氏による「天気と災害」についての講演を受けた。平成29年9月の台風18号の被害から、初期避難や避難準備についての示唆をいただいた。いざ、災害が起こった場合を想定し行動することの大切さを理解できた。



【土砂災害講演会】7月11日(水) 小中合同研修 対象：児童生徒、職員

- ・大分県砂防課林達也氏と大分県防災ボランティア協会の方から「土砂災害」についての講義を受けた。本匠地区の土砂災害危険箇所の確認を行うとともに、土石流や地滑り等の状況を実映像で視聴し模型を使ってその仕組みを説明していただいた。災害のメカニズムと事前避難の必要性を実感できた。



【水害に関する講演会】10月11日(木)・16日(火) 小中別研修 対象：児童生徒

- ・国土交通省九州地方整備局佐伯河川国道事務所添田良一氏による「佐伯市における水害」という講演を受けた。過去から近年までにあった佐伯を流れる番匠川水系における反乱による水害について、天気概況や画像を使って分かりやすく説明があった。豪雨等の気象状況では河川状況が急変悪化することを知り、早めの対応の必要性を実感していた。



○担任による年間指導計画に基づいた授業実践 各学年の一例
(小学校)

【1年 生活科 「安全教室で身近な危険を調べよう」】10月3日(水)

- ・避難訓練で気づいた校区内にある危険な場所をふり回り、どのような危険があるかを考えることを通して、それぞれの危険に応じた危険回避の方法に気づくことができた。

【2年 特別活動「学校と地区の避難の仕方を比べよう」】11月13日(火)

- ・学校での避難訓練と地域での避難訓練との相違点を話し合う活動を通して、避難の仕方にはいろいろあることに気づくことができた。

【3年 総合学習「自分たちの地域を知ろう」】6月21日(木)

- ・校区探検で見つけた危険な場所を安全マップにまとめる活動を通して、地区での安全な過ごし方や身の守り方について考えることができた。

【4年 総合学習「わが家の防災手帳を作ろう」】7月5日(木)

- ・地域の防災対策について聞いたり佐伯市防災手帳を基に考えたりする活動を通して、避難時に必要な準備物や備え・対策について、「わが家の防災手帳」にまとめることができた。

【5年 理科 「流れる水と変化する土地」】11月9日(金)

- ・降水量と川の水量の関係を調べ、雨の降り方によって、流れる水の早さや水の量が変わり、増水によって土地の様子が大きく変化することを知解することができた。国土交通省佐伯河川国道事務所の方々から、番匠川現地で河川の様子の観察・説明を受けながら土地の変化について考えることができ、本匠地区でも水害の可能性のあることを意識することができた。

【6年 理科 「火山活動や地震と土地の変化」】11月27日(火)

- ・図書やコンピュータから得た情報を活用し火山活動や地震による土地の変化について調べる活動を通して、防災講演会や被災地訪問と関連づけた防災に対する意識を高めることができた。

(中学校)

【1年 国語科 「防災について調べたことを報告しよう」】10月2日(火)

- ・生徒一人ひとりが自分のテーマに沿って情報を収集し、伝えたい事実や自分の意見を明確に分かりやすい文章にまとめるとともに図表を入れた分かりやすいレポート「防災について私たちが準備すべきこと」を仕上げることができた。

【2年 総合学習「災害時を想定して自分ができることを考えよう」】10月1日(月)

- ・修学旅行の自主研修で班ごとのテーマを決めて調べてきた「京都市の防災対策」について、情報を整理し、本匠地区での課題と関連づけ考える活動を通して、災害時に生かすための方法を分析することができた。自分たちにできることは何か、本匠地区での新たな対策をどうするかと考えることで、地域防災についての理解を深めることができた。

【3年 社会科 「防災とまちづくり～安全・安心なまちをめざす地方公共団体の取組」】

10月4日(木)

- ・様々な地域での防災の取組を参考にして、自分の町、佐伯・本匠では将来に向けてどのような町づくりが求められているか考えることができた。

④防災キャンプ

【中学校防災キャンプ】7月12日(木)～13日(金)

- ・水、電気が使えないという非常時を想定したキャンプを通して、非常時の衣食住体験から一人ひとりの防災意識を高めるとともに、自分自身の行動や周囲への行動の在り方について考えることができた。実際に非常時設定での行動を通して、これまで持っていた避難のイメージが安易であったことや非常時への備えの必要性を体感していた。防災キャンプを通して、防災に対する考え方が大いに变化した。



【小学校防災キャンプ】7月19日(木)～20日(金)

- ・毎年行っている校内キャンプに防災の視点を入れて実施した。緊急避難時の集団行動・宿泊の訓練を兼ねて実践した。ビニル袋を使用した防災食調理実習や着衣泳・ペットボトル救助、集団宿泊等から周りの状況や人を考慮しながら行動すること、互いに協力し助け合うことの大切さから、「自助」「共助」の必要性を体感していた。



⑤被災地訪問(愛媛県西予市野村地区)

- 小学校5・6年生22名、中学校1・3年生17名、引率職員8名で、西予市野村地区肱川周辺で起きた7月の西日本豪雨による河川氾濫浸水害について学んだ。実際に災害現地を視察した際、野村地区と本匠地区がよく似た地形であることがわかった。その中で、短時間で想定以上の甚大な被害が起きたという衝撃的な現実を目の当たりにし、防災の必要性を痛感していた。



⑥小中合同避難訓練

- 避難訓練を通して、災害時に児童生徒が自らの生命を自分で守るとともに地域の支援者となるべく自分で考えて行動できることができるようになることをめざして、3回の小中合同避難訓練活動を計画実践した。避難行動時における児童生徒の主体的行動の育成を図ることにより家庭・地域への啓発もねらった取組として、中学生が作成したチラシを自治会の協力を得て地区に回覧した。

【地域のみなさまへ】

私たち、本匠小・中学生は
10月2日に避難訓練を行います!

目的: 主幹災害から自分の
命を守るため!

7月豪雨の
被災地、愛媛県西予市に
避難した児童・生徒の
様子を、避難訓練を通して
学びました。

実施日
(3回予定しています)

第1回 10月2日(水) 10:35~12:00
集合場所 中学校玄関
(小野地区公民館) → 避難場所は
野村地区公民館
おやつ! 目的の会、みんなの会!

本匠小・中 学 校

第1回避難訓練の様子

全校児童・生徒でスムーズに避難できました!

【地域のみなさまへ】

◎ 第2回避難訓練を10月17日(水)
の午後に行います。

※児童・生徒の訓練後の15:30頃、防災の
フライング放送が通川地区が初です。
ご理解をご協力をお願いします。

※今回は、
避難訓練
の様子を
学校
に
記録
し
ま
す。

下校の途中で、
大きな地震が
起きたら、

地震のあと、
どこに避難
したら、

お知らせ

第3回の避難訓練は11月1日(日)です!
地域の方と一緒に、防災の避難訓練を
行いたいと考えています。ご協力をお願いします。

佐伯市一帯の
避難訓練があります!

本匠小・西予市のみなさまへ
お誘いいたします!

平高20年11月11日(日)

※10:30集合
※11:00開演
※11:30閉演

※11:30集合
※11:45開演
※12:15閉演

※12:15集合
※12:30開演
※13:00閉演

※13:00集合
※13:15開演
※13:45閉演

※13:45集合
※14:00開演
※14:30閉演

※14:30集合
※14:45開演
※15:15閉演

※15:15集合
※15:30開演
※16:00閉演

※16:00集合
※16:15開演
※16:45閉演

※16:45集合
※17:00開演
※17:30閉演

※17:30集合
※17:45開演
※18:15閉演

※18:15集合
※18:30開演
※19:00閉演

※19:00集合
※19:15開演
※19:45閉演

※19:45集合
※20:00開演
※20:30閉演

※20:30集合
※20:45開演
※21:15閉演

※21:15集合
※21:30開演
※22:00閉演

※22:00集合
※22:15開演
※22:45閉演

※22:45集合
※23:00開演
※23:30閉演

※23:30集合
※23:45開演
※24:15閉演

※24:15集合
※24:30開演
※25:00閉演

※25:00集合
※25:15開演
※25:45閉演

※25:45集合
※26:00開演
※26:30閉演

※26:30集合
※26:45開演
※27:15閉演

※27:15集合
※27:30開演
※28:00閉演

※28:00集合
※28:15開演
※28:45閉演

※28:45集合
※29:00開演
※29:30閉演

※29:30集合
※29:45開演
※30:15閉演

※30:15集合
※30:30開演
※31:00閉演

※31:00集合
※31:15開演
※31:45閉演

※31:45集合
※32:00開演
※32:30閉演

※32:30集合
※32:45開演
※33:15閉演

※33:15集合
※33:30開演
※34:00閉演

※34:00集合
※34:15開演
※34:45閉演

※34:45集合
※35:00開演
※35:30閉演

※35:30集合
※35:45開演
※36:15閉演

※36:15集合
※36:30開演
※37:00閉演

※37:00集合
※37:15開演
※37:45閉演

※37:45集合
※38:00開演
※38:30閉演

※38:30集合
※38:45開演
※39:15閉演

※39:15集合
※39:30開演
※40:00閉演

※40:00集合
※40:15開演
※40:45閉演

※40:45集合
※41:00開演
※41:30閉演

※41:30集合
※41:45開演
※42:15閉演

※42:15集合
※42:30開演
※43:00閉演

※43:00集合
※43:15開演
※43:45閉演

※43:45集合
※44:00開演
※44:30閉演

※44:30集合
※44:45開演
※45:15閉演

※45:15集合
※45:30開演
※46:00閉演

※46:00集合
※46:15開演
※46:45閉演

※46:45集合
※47:00開演
※47:30閉演

※47:30集合
※47:45開演
※48:15閉演

※48:15集合
※48:30開演
※49:00閉演

※49:00集合
※49:15開演
※49:45閉演

※49:45集合
※50:00開演
※50:30閉演

※50:30集合
※50:45開演
※51:15閉演

※51:15集合
※51:30開演
※52:00閉演

※52:00集合
※52:15開演
※52:45閉演

※52:45集合
※53:00開演
※53:30閉演

※53:30集合
※53:45開演
※54:15閉演

※54:15集合
※54:30開演
※55:00閉演

※55:00集合
※55:15開演
※55:45閉演

※55:45集合
※56:00開演
※56:30閉演

※56:30集合
※56:45開演
※57:15閉演

※57:15集合
※57:30開演
※58:00閉演

※58:00集合
※58:15開演
※58:45閉演

※58:45集合
※59:00開演
※59:30閉演

※59:30集合
※59:45開演
※60:15閉演

※60:15集合
※60:30開演
※61:00閉演

※61:00集合
※61:15開演
※61:45閉演

※61:45集合
※62:00開演
※62:30閉演

※62:30集合
※62:45開演
※63:15閉演

※63:15集合
※63:30開演
※64:00閉演

※64:00集合
※64:15開演
※64:45閉演

※64:45集合
※65:00開演
※65:30閉演

※65:30集合
※65:45開演
※66:15閉演

※66:15集合
※66:30開演
※67:00閉演

※67:00集合
※67:15開演
※67:45閉演

※67:45集合
※68:00開演
※68:30閉演

※68:30集合
※68:45開演
※69:15閉演

※69:15集合
※69:30開演
※70:00閉演

※70:00集合
※70:15開演
※70:45閉演

※70:45集合
※71:00開演
※71:30閉演

※71:30集合
※71:45開演
※72:15閉演

※72:15集合
※72:30開演
※73:00閉演

※73:00集合
※73:15開演
※73:45閉演

※73:45集合
※74:00開演
※74:30閉演

※74:30集合
※74:45開演
※75:15閉演

※75:15集合
※75:30開演
※76:00閉演

※76:00集合
※76:15開演
※76:45閉演

※76:45集合
※77:00開演
※77:30閉演

※77:30集合
※77:45開演
※78:15閉演

※78:15集合
※78:30開演
※79:00閉演

※79:00集合
※79:15開演
※79:45閉演

※79:45集合
※80:00開演
※80:30閉演

※80:30集合
※80:45開演
※81:15閉演

※81:15集合
※81:30開演
※82:00閉演

※82:00集合
※82:15開演
※82:45閉演

※82:45集合
※83:00開演
※83:30閉演

※83:30集合
※83:45開演
※84:15閉演

※84:15集合
※84:30開演
※85:00閉演

※85:00集合
※85:15開演
※85:45閉演

※85:45集合
※86:00開演
※86:30閉演

※86:30集合
※86:45開演
※87:15閉演

※87:15集合
※87:30開演
※88:00閉演

※88:00集合
※88:15開演
※88:45閉演

※88:45集合
※89:00開演
※89:30閉演

※89:30集合
※89:45開演
※90:15閉演

※90:15集合
※90:30開演
※91:00閉演

※91:00集合
※91:15開演
※91:45閉演

※91:45集合
※92:00開演
※92:30閉演

※92:30集合
※92:45開演
※93:15閉演

※93:15集合
※93:30開演
※94:00閉演

※94:00集合
※94:15開演
※94:45閉演

※94:45集合
※95:00開演
※95:30閉演

※95:30集合
※95:45開演
※96:15閉演

※96:15集合
※96:30開演
※97:00閉演

※97:00集合
※97:15開演
※97:45閉演

※97:45集合
※98:00開演
※98:30閉演

※98:30集合
※98:45開演
※99:15閉演

※99:15集合
※99:30開演
※100:00閉演

【第1回避難訓練】10月2日（火）

- ・登校時に記録的短時間大雨情報が発令され、洪水・浸水害・土砂災害の危険度が高まったという想定の下、学校から本匠地区公民館へ避難した。避難経路途中の危険箇所を確認するとともに、大雨情報下での避難の難しさ等課題に気づくことができた。



【第2回避難訓練】10月17日（水）

- ・下校時に大規模地震が発生し大津波警報及び避難勧告が出されたという想定の下、通学路から最寄りの各避難所へ避難するという訓練を行った。スクールバスでの避難の仕方も合わせて体験させた。学校外での自分の身の守り方について知ることとなった。



【第3回避難訓練】11月11日（日）

- ・佐伯市一斉「地域避難訓練」に合わせて、在宅時における地震発生時の避難所への避難訓練を行った。事前指導、家庭・地域との連携により避難想定時の行動を体得していた。緊急地震速報・大津波警報を聞いた後、家の中での身の守り方や避難所への移動場所と経路の確認ができた。家庭で取り組んだことは、親子の防災意識の高揚に繋がった。



⑦地域・行政・家庭との連携（実践委員会等）

- 本事業では、児童生徒の「主体的に行動する態度」の育成を主目標として実践するとともに、家庭・地域への啓発や連携協力の推進にも積極的に取り組む必要がある。実践委員会や文化祭、避難訓練等を通して家庭・地域への啓発が進められた。

【モデル事業実践委員会】

- ・防災教育アドバイザーや関係諸機関、地域代表、保護者代表が委員となり年間計画に位置づけた実践委員会を行った。小中学校での防災教育の趣旨や課題・実践について理解を図るとともに学校への指導助言から学校の取組の検証確認を諮ることができた。学校・家庭・地域・行政の連携の必要性を確認する場となった。また、実践委員会の開催は地域・保護者への防災に対する啓発の場ともなった。

実践委員会準備会	6月	8日	(金)
第1回実践委員会	7月	18日	(水)
第2回実践委員会	9月	27日	(木)
第3回実践委員会	11月	22日	(木)
第4回実践委員会	1月	29日	(火)



【本匠地区文化芸術祭】 11月3日（土）

・被災地訪問や総合的な学習の時間・各教科の時間から学んだ防災学習成果等の発表を行ったことは、家庭や地域への啓発に繋がられた。児童生徒の発表は、地域住民の防災・減災に向けての意識化に多少なりとも効果があった。また、管内外の教職員への啓発の場ともなった

- 小学5・6年 「地区防災について」
- 中学 1年 「予想される地域の災害や準備について」
- 中学 2年 「本匠地域を災害から守るために」
- 中学 3年 「地域の防災支援者になるために」



③公開研究発表会

【実施日】 12月12日（水）

- 【内容】 報告① 「小中一貫防災教育の取組」 小中防災教育コーディネーター
- 報告② 「防災学習で学んだこと」 児童生徒代表
- 全体会 パネルディスカッション 地域代表・保護者代表・関係機関
児童生徒代表・学校代表・コーディネーター

○パネルディスカッションでは、大分県教育庁安全・安心支援課の井上哲一氏をコーディネーターとして各代表パネリストとの意見交換を行った。これまでの学習成果から本匠地区における防災について考えたことや希望することについて小学生、中学生が地域の方に提言するという形式から防災意識が更に強まった。全体会において、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長小林祐司氏から指導助言をいただいた。



IV 成果と課題

本匠小学校・本匠中学校合同で、また全校や学年毎で、様々な場面をとらえて防災についての学習を積み重ねてきた。児童生徒は、学級での防災学習に留まらず、浸水害・土砂災害についての講演会や被災地訪問等の現地学習、防災キャンプや合同避難訓練といった実体験を通して、防災意識を高め主体的に行動する態度を身に付けることができてきた。大雨と災害との関係を理解し、浸水害や洪水被害、土砂災害の怖さに気づくとともに、被災者の立場に立って考えることができる心や本匠における防災について考えることを通してふるさと本匠を愛する心の醸成にもつなげられた。学習から、更に情報収集の大切さや非常時における避難の必要性、そのための避難場所や経路の確認・避難訓練・避難準備の必要性についても理解することで、防災への意識は学習前より確実に高まっている。

今後、カリキュラムマネジメントを意識した教育課程の編成を行ったが、今年度の取組を見直し更に低学年からの系統立てた防災教育の実践を継続することで、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成、児童生徒の発達段階に応じた主体的に行動できる態度の育成を図りたい。

そして、教職員が防災について改めて学び直しができたことが、児童生徒の防災意識を高める防災教育の実践に繋がった。私たちは更に研修を深め、防災教育の実践を通して、地域防災へ貢献していく児童生徒の育成に繋げていきたい。

また、本事業の実践により児童生徒の学びの姿を家庭や地域へ発信できたことは、両者への大きな啓発の機会となった。活動の学びを家庭に帰って親子で話し合ったり避難について確認したりする時間を持つことが増え、家庭での防災意識の高まりに繋がっている。地域にも避難訓練や文化芸術祭・公開研究会での発表が、「子どもから刺激を受け、地区で何かしなければ」という思いを持った方々の声にも広がっている。児童生徒の姿が、地域防災の見直しに僅かでも影響していると感じる。

しかし、南海トラフによる大津波が予想される地域がある海岸部の先進的な取組に比べると、本匠地区の避難訓練等の取組は十分とは言えないし、危機意識も海辺の住民ほど高くない。今後継続して防災教育を実践するという子どもからのアプローチが、地域を見直す機運を高め、地区ごとに温度差のある状況の打破にも繋がっていくのではないかと考える。地域の支援者となり地域を担っていく児童生徒の育成のためにも、今年度の取組を足がかりに更に実践を積み重ねる必要性がある。家庭・地域と連携した取組の推進は、地域からの要望とも言える。

V 今後の予定

- 2月 児童生徒対象 防災意識調査
- 2月 児童生徒による防災提言（ミニ議会）
- 2月 研究紀要作成

*以下、ミニ議会提言・要望（案）

提言・要望（案）

佐伯市教育委員会 教育長様

「平成30年度大分県防災教育モデル実践事業」における本匠小中学校合同の取組である避難訓練や被災地訪問、防災学習を通して、以下の課題が見えてきました。

- (1) 本匠地区でも、番匠川の氾濫による浸水害や記録的大雨による土砂災害の危険性は高い。
- (2) 本匠小中学校の裏山は、土砂災害警戒地域に指定されている。
- (3) 避難場所である本匠地区公民館までは遠く、また危険箇所が多く、災害時に歩いて避難することはリスクが高い。
- (4) 非常時には、早めに避難する必要がある。

これらのことをもとに、公開研究発表会で本匠振興局 出納司局長に
○防災無線を活用した、早めの本匠地区独自避難情報発信は必要である。
○学校近くに、安全な避難場所を作してほしい。

という考えを伝えた。更に、佐伯市全体のことを考えた要望として

- 佐伯市の各地域性を考慮し、非常時に地区独自の避難放送を発信してほしい。
- 近年の状況から災害時に備え、佐伯市内の全小中学生は、非常持ち出し袋を個人で準備し学校に備えておく必要があると思う。各学校への呼びかけをしてほしい。

以上、2点について検討をお願いします。

平成31年2月〇〇日

佐伯市立本匠小学校児童会長

津村 明希

本匠中学校生徒会長

野村 伶